

子どもと音楽

子ども達は、音の出るものが大好きですね。

カチカチとかコトコトとか音が出るものは何でも鳴らして遊びます。

また、棒などを持つとまるで太鼓を打つように、机などをたたいてリズムを取る事もあります。

子どもは本来、リズム感を持っていて、リズムカルな音楽を聴くと頭で受け止める前に反射的に身体で反応します。

そういう活動を何回か繰り返していくうちに、いろいろなリズムを身体で表現出来るようになります。

子どものリズム感覚を育てる上で大切な事は、普段の生活の中で、楽しくなるような音楽や心休まるような音楽を聞かせてあげる事です。

逆に、不愉快な音は出来るだけ避けるようにしましょう。

すごく大きな音や高すぎる音、長く続く低い音など、不協和音は人の心を疲れさせます。

特に幼児期は聴覚器官の発達がほぼ完了する時期と言われています。

また音に対する幼児の鋭敏さもリズム感も身につく時期なので不快な音にばかり接していると、それに慣れてしまい、音感が育たないでしょう。

しかし、生活の中には騒音を聞く機会がたくさんあり、それらをすべて遠ざける事は出来ませんよね。

むしろ騒音を避けるよりも積極的に美しく楽しい音楽を取り入れる事！

子ども達がいつも良い音に親しめるようにさせたいものです。

良い音に対する感覚を生活の中で活かす事によって、音の快、不快を聞き分ける力もごく自然に身についてきます。